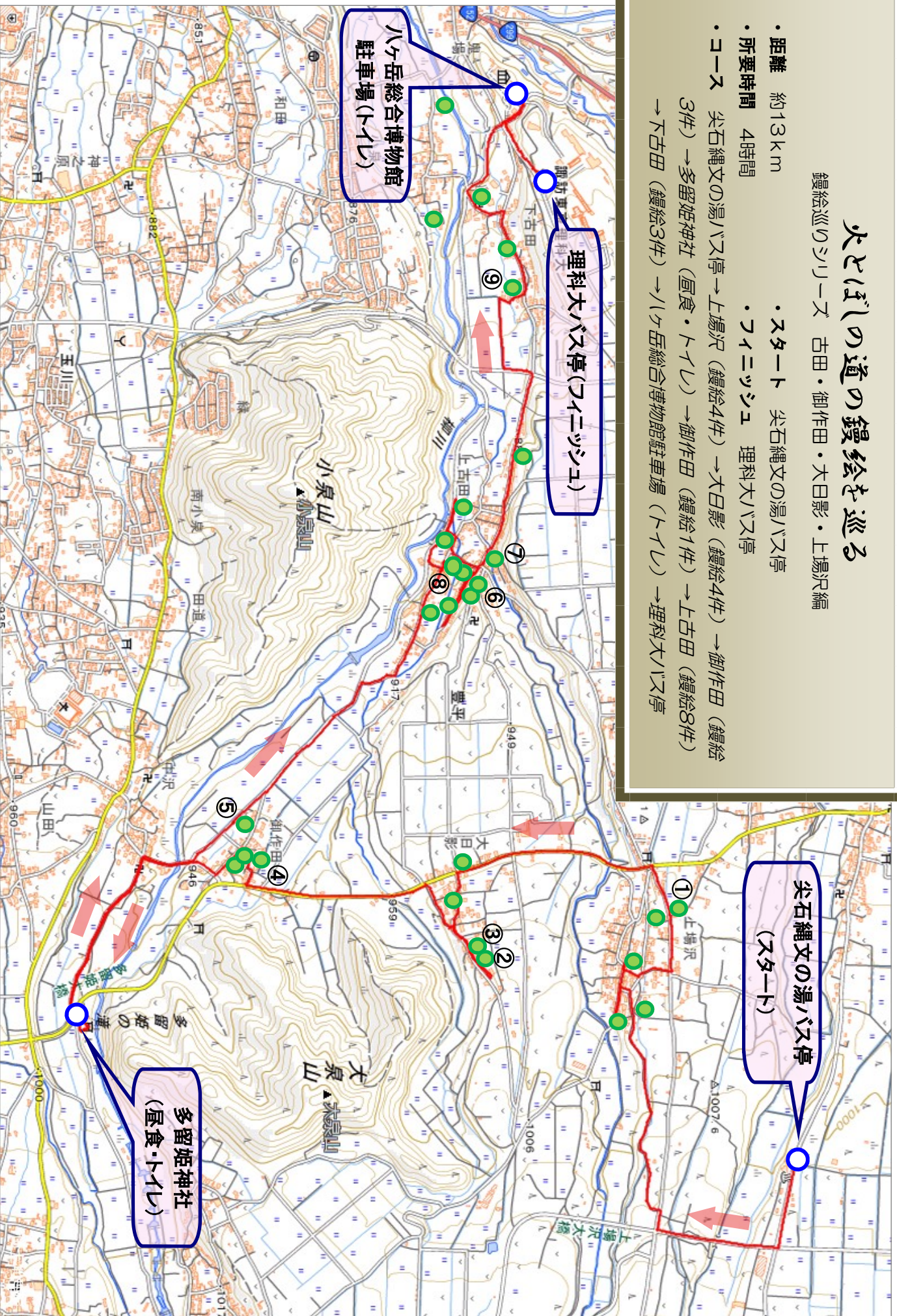


# 火とばしの道の鑢絵を巡る

鑢絵巡りのシリーズ 古田・御作田・大日影・上場沢編

- ・距離 約13km
- ・所要時間 4時間
- ・スタート 尖石縄文の湯バス停
- ・ポイント 理科大バス停
- ・コース 尖石縄文の湯バス停→上場沢(鑢絵4件)→大日影(鑢絵4件)→御作田(鑢絵3件)→多留姫神社(昼食・トイレ)→御作田(鑢絵1件)→上古田(鑢絵8件)→下古田(鑢絵3件)→ハケ岳総合博物館駐車場(トイレ)→理科大バス停





茅野市のなだらかな田園地帯に囲まれて小泉山・大泉山が東西に並んでいますが、その北側の古田（ふった）から大日影にかけてを「火とぼしの道」と呼んでいます。「火とぼし」はこの地域に伝わる男の子の伝統行事で、火除け・虫追い・豊作祈願のためこの二つの山の山頂に丸太で組んだ小屋を建てて日暮れ後に燃やすもので、6月18日に今も行われています。山梨の「どんど焼き」に似た行事ですがかけ声は「火とぼしちよちよい」、微笑ましいですね。

「火とぼしの道」沿いに26ヶ所の鰻絵を見つけました。ゆったりとした田園風景の中にある四集落に点在する「大黒」「恵比寿」「鶴亀」「波と千鳥」など様々な鰻絵を巡って楽しみましょう。



① 新しい蔵の丑鼻に「龍」の鰻絵。反対面の丑鼻にも「大黒様」が見られます。新しい鰻絵は、色鮮やかで斬新。今も技術が受け継がれていて嬉しくなります。



④ 窓枠がかかって半円形となった丑鼻部分には綺麗な「鶴」が、そして右下の妻壁にはかわいい「亀」が一匹。楽しい一品。



⑦ 小さな蔵ですが左右に絵柄の鰻絵が配されています。こちらはモノクロで「波に千鳥」が綺麗に描かれています。



② ③の蔵と隣り合わせの鰻絵蔵です。波打ち際の岩場で満月をながめる二匹の「鶴」、尾は浮き上がり影をつくっています。



⑤ 御作田集落の外れにある大きな蔵の大版の鰻絵。「波に鶴亀」。縁は広く、淡い彩色で品があり、このコースでは秀逸な作品です。



⑧ 蔵を守るのか鰻絵を守るのか、防風のためと思われる生け垣が蔵の形にきれいに刈りそろえられています。



③ 鯛を釣り上げる「恵比寿様」。空が暗いので夜釣りかな。反対面の丑鼻には大黒様も描かれていました。



⑥ 歯を見せて「ニカッ!」。衣の色使い、袖口や衣の裾に縁取りがなされて特徴的な「大黒様」。



⑨ 下古田集落で見つけた大黒様。口に手を当ててにこやかに何やら叫んでいます。